

「おいしい」は正義です★

M「今回の展示テーマは「お菓子」なんだけど、みんなはどんなお菓子が好きなの？」

F「けっこう歯ごたえのあるやつが好きですね～炭酸せんべいとか。あ、炭酸せんべいで、出来立ては「ふやふや」してるらしいですよ！」

M「そうなんだ！ほら、日本人って米食でしょ？やわらかいものをよく食べるから、そういうのが流行ったりするのよね。“やわやわ”とか“ふわっふわ”とか、よく聞くよ～」

F「生〇〇とかも流行ってましたよね。Tさんは？」

T「私はケーキとか、甘いものが好きです」

M&F「やっぱり!!」

M「“チョコタルト”のTだもんね～」

T「でも、よく行くケーキ屋さんのガトーショコラが、だんだんコテコテになってきてて…すごく濃い味になってます」

F「コテコテに!?普通、逆じゃない…?」

M「そんなこともあるのね…ところで、2月にお菓子といたらバレンタインがあるじゃない!どう?チョコレートは好き?」

F「私は、ビターじゃない、甘いやつの方が好きです。ホワイトチョコとか。バレンタインが近くなると、お店のフェアとかに行きましたね～人に渡す用と、自分用を買うと、いつの間にか自分用のほうがお高くなったりしてました…」

T「おいしそうなのがいっぱいありますもんね!」

M「あら、Fさんそれは?」

F「乙一さんの『銃とチョコレート』です」

M「ああ、有名チョコレート店の名前がそのまま登場人物名になってる小説ね」

F「挿絵がめっちゃ怖いんです」

M「…あら、ホント」

T「ひえ…」

M「ちなみに、突然だけどキミたちはお菓子作りはするの?」

F「しないですね。工程がややこしいとちょっと…」

T「私もしないです…」

M「ってことは、YA担当はみんなお菓子は食べる専門ね★」



←インスタは
ココ



<https://www.instagram.com/hondarake55>
←ブログはこっち <http://sanda-city-lib-ya.sblo.jp/>

ホンダラケ

2021.2.1

おかし・オカシ・OKASHI

今年も始まりました、ホンダラケ。
よろしくお祈りします☆

『満月珈琲店』

メニューブック 桜田千尋イラスト集

桜田千尋／著 玄光社 2021年刊



726.5/21

定番メニューはもちろん、四季折々、12星座のメニューなど、綺麗で、かわいくて、どれもおいしそうで…
例えば、「三日月のクロワッサン」や「惑星のアイスクリーム」「空のトースト」なんて…うっとりしちゃいます♪
そして!このイラストを描かれている桜田千尋さんは、兵庫県三田市のご出身なんです!…なんだか少し嬉しくなりました♪この本に載っているメニューが登場する「満月珈琲店の星詠み」シリーズは、三田市立図書館でも所蔵していますよ～気になる方は要チェックです!!

ホンダラケとは

本誌は、読者の身も心も「本だらけ」にしてやろうという心意気から生まれた中高生向け小冊子です。本誌に登場する本は全て三田市立図書館本館のYA(ヤングアダルト)コーナーでご覧いただけます。

2か月に1度、年6回発行予定です。

ホンダラケは皆様の投稿をお待ちしております。YAコーナーに用紙・ポストがございますので、おすすめ本や本誌の感想・要望などお寄せ下さい。

青春読書記

～三田学園図書委員会より愛をこめて～

テーマは「スイーツ」

中高生ならなおさら甘いものの誘惑にメロメロでしょうな！
ホンダラケ展示とのコラボテーマですね♪

林真理子／著

『秘密のスイーツ』ポプラ社 2010年

主人公・村田理沙は60キロの体重をからかわれ不登校になってしまう。ある日、理沙の母の携帯を探していると偶然66年前に繋がる穴を見つけてしまう。その穴の向こうには中森雪子がいた。理沙と雪子には66年の差がありながら互いにお菓子を送りあっていく。けれどある日米軍の空襲によって通信がとぎれてしまう。甘いスイーツの中に戦争の悲惨さがあるストーリーです。



F/ハヤ

P.N. アレフ(高校2年生)

「こんな本、棚から見つけました」のコーナー

このコーナーでは、スタッフが棚を見て“再発見”をした本を紹介します

『ちょさく犬が答える！ 野田佳邦／著 イラスト/じんぞう

SNS時代の著作権』三恵社 2021年

この絵面白い！写真撮ってインスタで紹介しよう！
人気のあの歌を歌って踊って動画で流しちゃおう！
誰でも簡単にやってそうだけど、それって本当に
やって大丈夫かな？イラストや曲・歌詞・文章の前
に立ちはだかるのは『著作権』。何がダメで何がOK
なのか、ちょさくけんという犬がQ&Aで教えてくれ
ます。SNSはお手軽なだけに、気前よくUPしていたら
実は犯罪！？なんてことも。こわこわ。



021.2/21

新着図書 Pick Up

『産婦人科専門医が教える初めての性教育』

仲 栄美子／著 2021年刊 自由国民社



性の悩みは、人には話しづらいことでしょう。この本は小中高生に「性のおはなし講演会」を開いてきた著者が、実際に生徒さんから受けた質問に答えるかたちで書かれたものです。

性教育は今、「性共育」、つまり性と共に育ち生きていくことを目指しているのだとか。悩みを抱えている人もそうでない人もみんなが当事者となる事柄です。正しい知識をもつ、その一歩にしてください。

367.9/21

難しいと思われているけれど、実は面白い
名作があるから読んでみてほしいんです。

名作本のコーナーをちょっぴりリニューアル！ 中途半端な時期だって？
思い立ったが吉日ですよ★

『第七官界彷徨 琉璃玉の耳輪 他四篇』より 尾崎翠／著

「アップルパイの午後」 2014年刊 岩波書店

アップルパイは何の味——？

台本の形式で書かれた戯曲。20ページほどの短い物語で、登場人物は兄、妹、兄の友達と三人のみです。

照れ屋で恋人がいる兄と勝気な妹のじゃれあうような会話が続きます。そして兄の友達が持ってくるアップルパイが鍵。

セリフのみで続く物語は、ややこしい説明一切なし。生き生きとした会話に、正統派少女漫画のような甘やかさが効いた一編です。



F/オザ